

取扱説明書 Ver 1.01

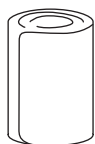
SD-507 IV

# ドックドーム Pro.6 アイボリー



この度は、スノーピーク製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は、キャンプ用テントです。安全にご使用いただくためにも下記の取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。説明内容で理解出来ない点及び製品に不具合が確認された際には直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

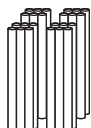
## ■ 各部の名称



フライシート×1  
インナーテント×1



ルーフシート×1



本体  
フレーム×4



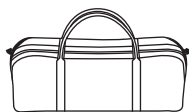
前室  
フレーム×1



ジュラピン  
ペグ×20



自在付ロープ  
2.5m×6、2.0m×2



キャリーバッグ×1



フレーム  
ケース×1



ペグ  
ケース×1



リペア  
パイプ×1



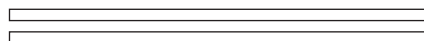
シームグリップ剤×1



取説冊子(本書)×1

セット内容は一般的な条件下での設営を基本としたものです。頑丈で長めのペグや、ロープなどを用意されると、柔軟な対応が可能となります。ペグやロープ、自在などは消耗品ですので、常に予備を携帯することをお勧めします。

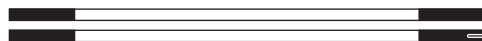
## ● フレーム構成



本体フレームA(短)×2



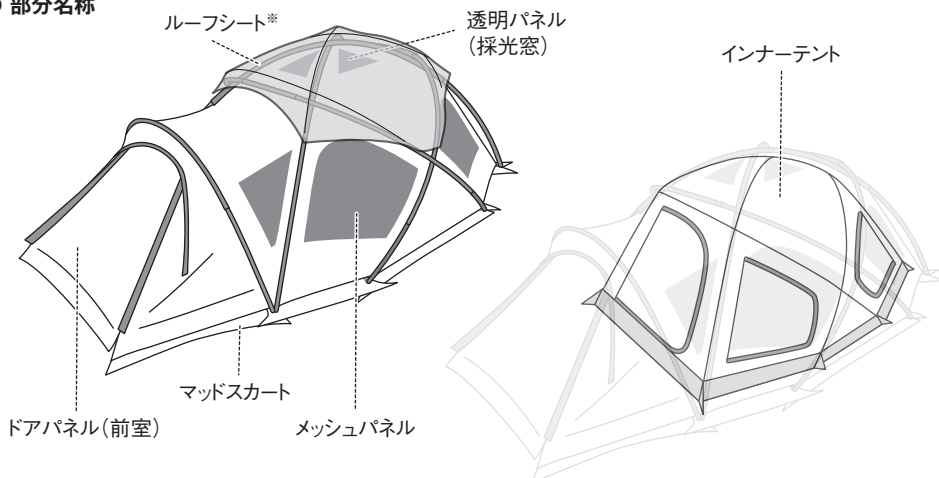
前室フレーム×1



本体フレームB(長)×2

先端が青

## ● 部分名称



※シールド加工は施してありません。

## 取扱上の注意

**⚠ 危険** 明らかに生命にかかわる重大な事故が予測される行為を示します。

- このテントの素材は難燃性ではありません。テント内では燃烧式のランタンやコンロ、ヒーターなどの熱源や、マッチ、ローソク、ライター、タバコなどの裸火や炎は絶対に使用しないでください。限られた空間での火気の使用は火災の恐れがあり大変危険です。
- テント内で燃料を保管したり、燃料を補給するなど、引火性のあるものを持ち込まないでください。



**⚠ 警告** 場合により重大な事故に至る行為を示します。

- ご使用の前に、本製品を点検し各部に異常がないことを確認してください。異常が発見された場合は、直ちに使用を中止しお買い求めいただいた販売店様、または弊社ユーザーサービス係に点検または修理を依頼してください。
- 気象状況には常に細心の注意を払い、風の強いときや悪天候が予想されるときは速やかにキャンプを中止して安全な場所へ避難してください。
- 高温に加熱されたものや発熱性のあるものを持ち込まないでください。天候によりテント内は高温になり、熱中症などの危険があります。お子様の昼寝の際など、最新の注意を払ってください。
- 風の吹き抜けるような場所や、雪崩、がけ崩れ、急な出水などの恐れのない地盤のしっかりとした、水はけの良い平坦な場所を選んで設営してください。



**⚠ 注意** ケガや本体破損、物品破損として拡大損害の原因となる行為を示します。

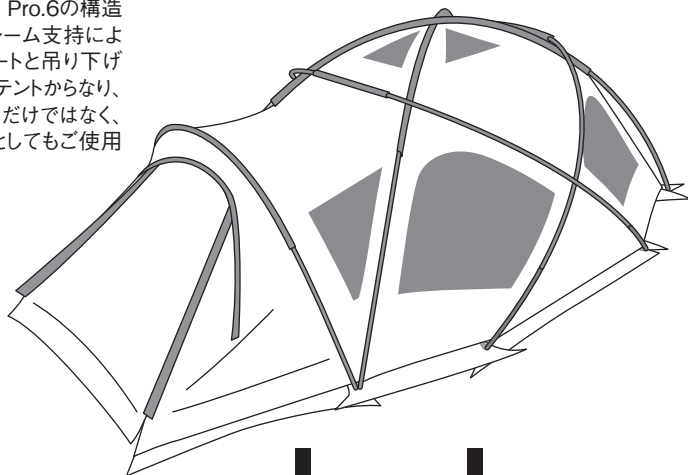
- 本製品は常設用ではありません。
- 日差しによりフライシート表面は低温やけどに発展するほどの高温になります。十分ご注意ください。
- たき火や花火などのそばで組み立てたり、使用しないでください。火の粉を被り、生地に穴を開けてしまう場合があります。
- テントの設営・撤収の際は、風に飛ばされないようフレームをしっかりと支えて作業してください。フレーム先端のハネ返りなどで思わぬ事故に繋がる恐れがありますので必ず周囲の安全を確認してください。
- ペグや張り綱でしっかりと固定して使用してください。
- テント素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起きますので、常設用として使用しないでください。



## 設営の概略

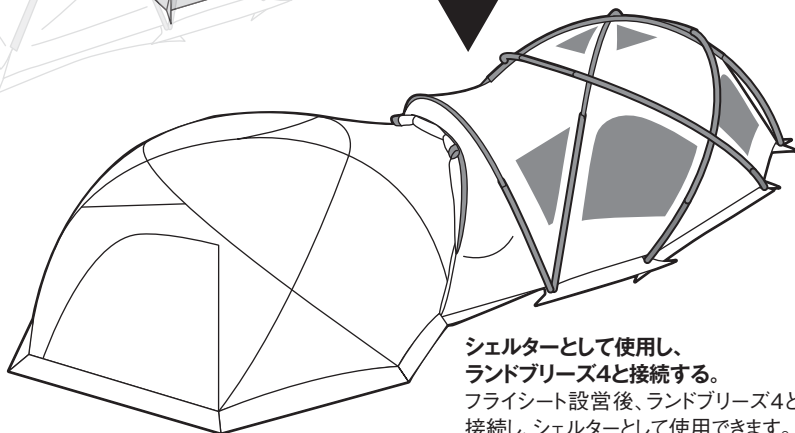
### フライシートの設営

ドッグドーム Pro.6の構造はアウトフレーム支持によるフライシートと吊り下げ式インナーテントからなり、テントとしてだけではなく、シェルターとしてもご使用できます。



### インナーテントを設置し、テントとして使用。

フライシート設営後、インナーテントを吊り下げて、テントとして使用できます。

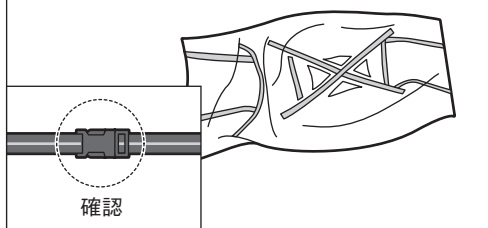


### シェルターとして使用し、ランドブリーズ4と接続する。

フライシート設営後、ランドブリーズ4と接続し、シェルターとして使用できます。

## フライシートの設営

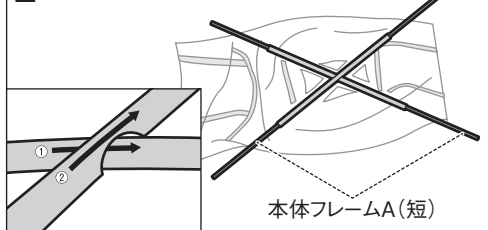
1



**フライシートを広げます。**

フライシートを広げます。このとき、ビルディングテープのバックル(4本)がきちんと留まっていることを確認してください。

2

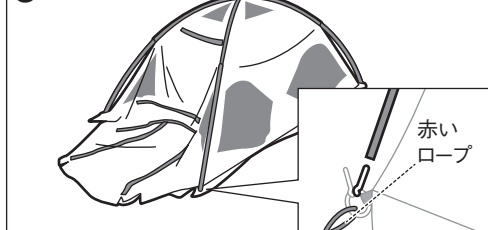


**2本の本体フレームA(短)をスリーブへX状に差し込みます。**

フレームは各ジョイントが確実に差し込まれていることを確認してください。スリーブに差し込む際は、フレームを「押し入れて」ください。引っ張ると各ジョイントが抜けますのでお止めください。

このとき、交点の下のスリーブから先に通すと作業がスムーズです。

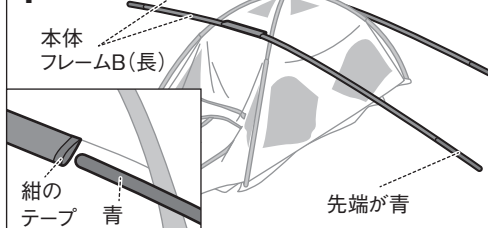
3



**本体フレームA(短)をピンに差し込み、フライシートを立ち上げます。**

本体フレームA(短)の先端をピンに差し込みます。フレームとピンの上に指を挟まないよう気をつけてください。

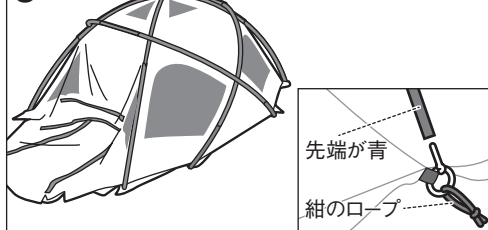
4



**2本の本体フレームB(長)をスリーブへ差し込みます。**

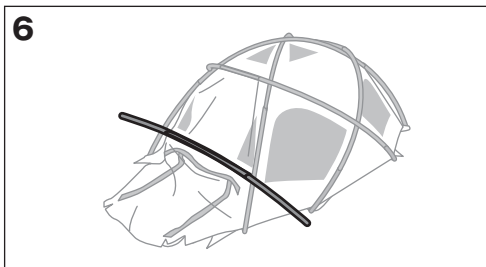
本体フレームB(長)をテント前後にあるスリーブへ差し込みます。スリーブに差し込む際は、フレームを「押し入れて」ください。引っ張ると各ジョイントが抜けますのでお止めください。

5

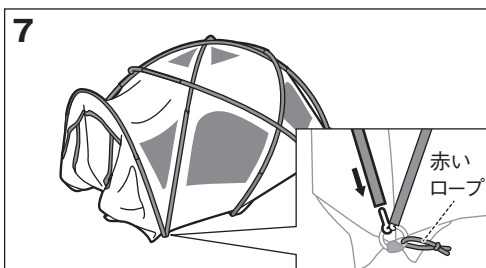


**本体フレームB(長)をピンに差し込みます。**

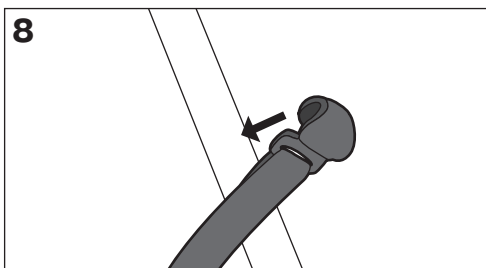
本体フレームB(長)が交差するようにピンに差し込みます。フレームとピンの上に指を挟まないよう気をつけてください。



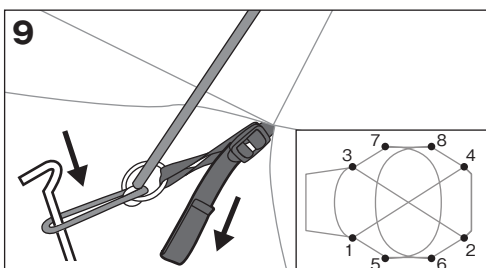
**6** 前室フレームをスリーブへ差し込みます。  
前室フレームをテント前面にあるスリーブへ差し込みます。スリーブに差し込む際は、フレームを「押し入れて」ください。引っ張ると各ジョイントが抜けますのでお止めください。



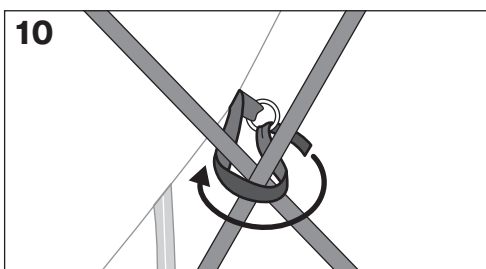
**7** 前室フレームをピンに差し込みます。  
前室フレームをピンに差し込みます。フレームとピンの間  
に指を挟まないよう気をつけてください。



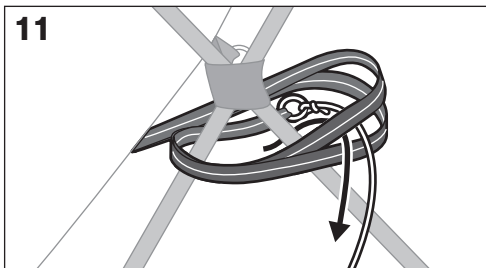
**8** フライシートに付いているフックを  
フレームに掛けます。  
フライシートに付いているフックをそれぞれ本体フレーム  
にかけます。このとき、上の方から順にフックを掛けて行く  
と作業がスムーズです。



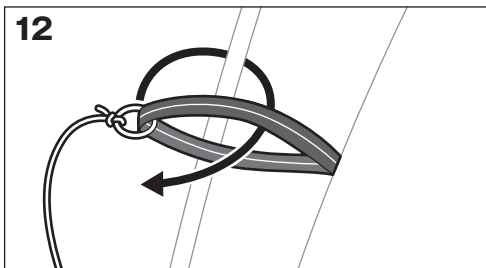
**9** フレーム端点のコーナーをベグダウンします。  
フレーム端点(8カ所)のロープをベグダウンします。  
ベグダウンの図の番号順に行ってください。また、ベグダ  
ウン後は調整ベルトを引いて締めてください。ベグダウン  
の位置は3ページの「張網(自在付ロープ)、ベグダウン  
の位置」に従ってください。



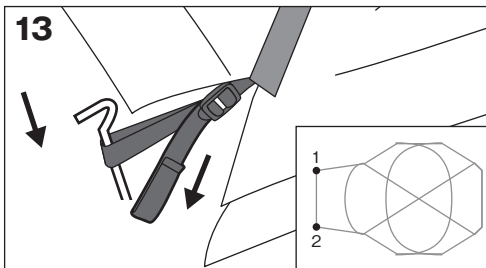
**10** 本体フレームB(長)の交点をベルクロで留めます。  
本体フレームB(長)の交点をフライシートに付いている  
ベルクロで留めます。このとき、2本のフレームを束ねる  
ようにベルクロを通します。



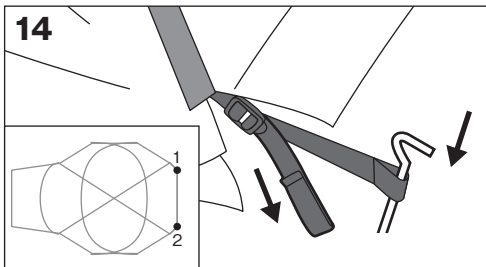
**11** 本体フレームB(長)の交点に張網用ループを巻き付け、ペグダウンします。  
 本体フレームB(長)に、フライシートに付いている張網用ループを巻き付け、ロープをペグダウンします。ペグダウンの位置は3ページの「張網(自在付ロープ)、ペグダウンの位置」に従ってください。



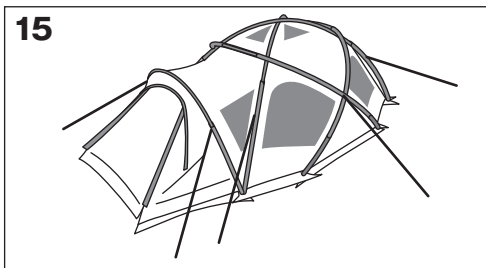
**12** 本体フレームA(短)に張網用ループを巻き付け、ペグダウンします。  
 本体フレームA(短)に、フライシートに付いている張網用ループを巻き付け、ロープをペグダウンします。ペグダウンの位置は3ページの「張網(自在付ロープ)、ペグダウンの位置」に従ってください。



**13** 前室のボトム部分をペグダウンします。  
 前室のボトム部分にあるループをペグダウンし、調整ベルトを締めます。ペグダウンの位置は3ページの「張網(自在付ロープ)、ペグダウンの位置」に従ってください。

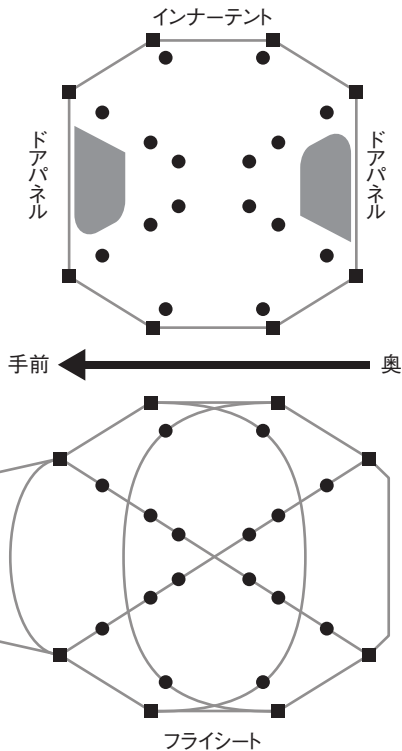


**14** 後室のボトム部分をペグダウンします。  
 後室のボトム部分にあるループをペグダウンし、調整ベルトを締めます。ペグダウンの位置は3ページの「張網(自在付ロープ)、ペグダウンの位置」に従ってください。

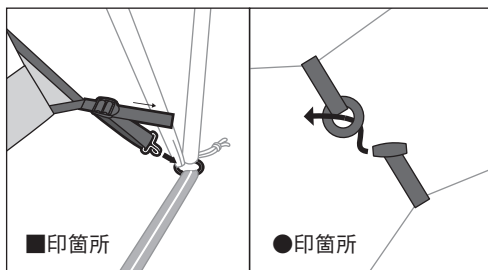


**15** 全体を調整して、フライシートの設営完成です。  
 最後に全体を見て、調整ベルトの締め具合やロープの引き具合などを調整して、フライシート設営の完了です。

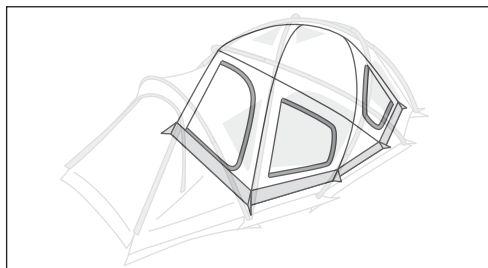
## インナーテントの設置



インナーテントを広げ、  
フライシートとの接続箇所を確認します。  
インナーテントを広げ、フライシートとの接続箇所(■印、●印)を確認します。接続の順番は後室側を奥側として手前へ、順に行います。天井付近から接続して行くと、奥側の接続が困難になります。

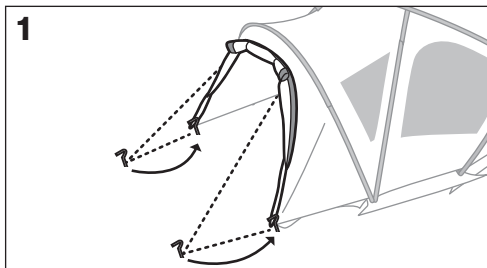


それぞれの接続箇所を留めます。  
■印の箇所はフックをリングに掛けます。また、最後にベルトを締め、調整します。  
●印の箇所はトグルで接続します。  
接続の順番は奥側から手前へ、順に行います。天井部から接続して行くと、奥側の接続が困難になります。

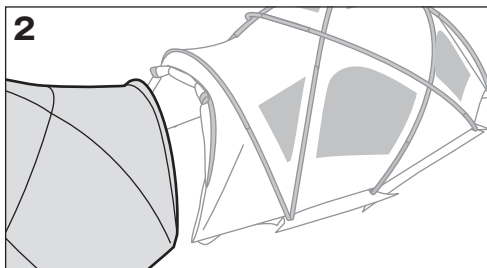


全体を調整して、インナーテント設置の完了です。  
最後に全体を見て、調整ベルトの締め具合を調整して、インナーテント設置の完了です。

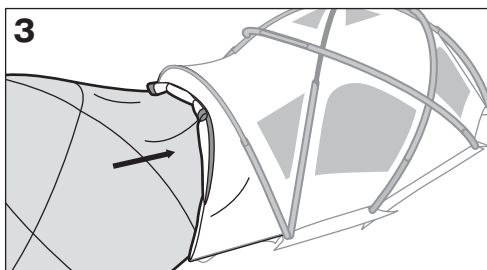
## ランドブリーズ4との接続方法



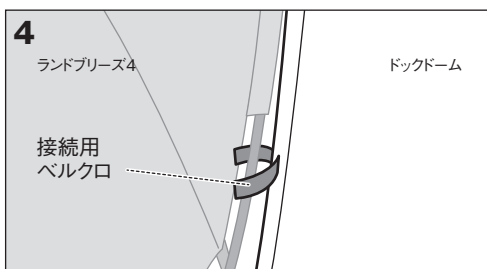
ドックドーム前室のペグダウン位置を変更し、巻き上げます。



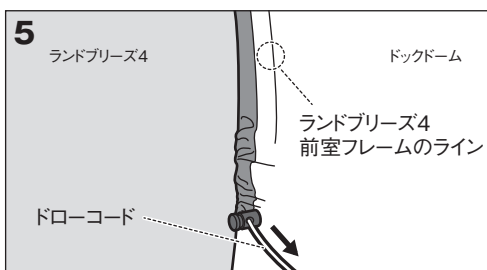
ランドブリーズ4を立ち上げた状態で準備します。  
ランドブリーズ4を立ち上げた状態（ペグダウンはしません）で、前室部分を巻き上げ準備します。



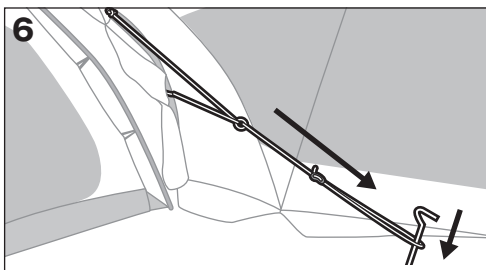
ランドブリーズ4の前室フレーム部をドックドームの前室へ入れます。  
ランドブリーズ4の前室が入りにくい場合には「1」のペグダウン位置をより外側に修正してください。



ドックドームの接続用ベルクロを留めます。  
ドックドームに付いている接続用ベルクロをランドブリーズ4の前室フレームに留めます。

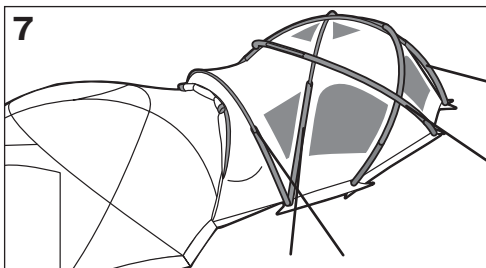


ドックドームのドロコードを引きます。  
ドックドームに付いているドロコードを引き、調整します。  
ランドブリーズ4の前室フレームのラインが少し浮き出るくらいが目安です。



**6** ドックドームの中に入り、ランドブリーズ4の  
前室フレームを張網で固定します。

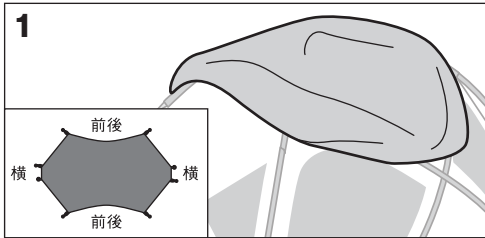
ドックドームの中に入り、ランドブリーズ4の前室に付いている張網をペグダウンします。ペグダウンはドックドームの内側です。



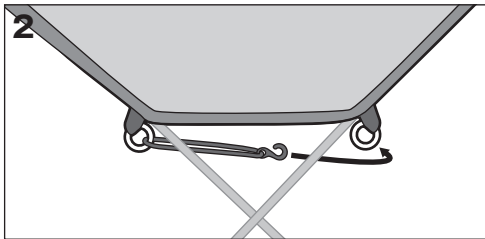
**7** ランドブリーズ4をペグダウンし、  
全体を調整して完成です。

ランドブリーズ4をペグダウンし、最後に全体を見て、調整ベルトの締め具合やロープの引き具合などを調整して、接続の完成です。

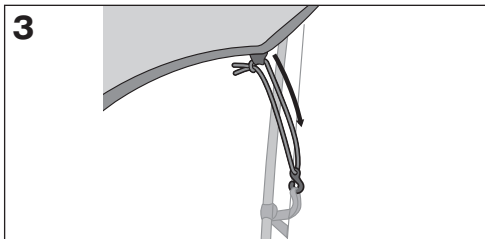
## ルーフシートの取付 ※シールド加工は施してありません。



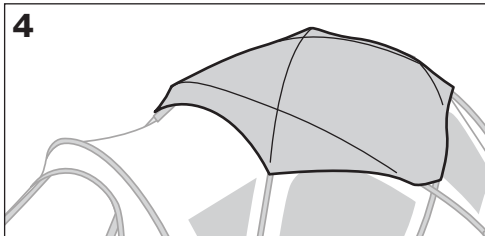
ルーフシートの向きを確認し、本体の上に掛けます。



ルーフシート横に付いているフックをリングに掛けます。このとき、ゴムを本体のフレームの下にくぐらせ、巻き込むように留めます。

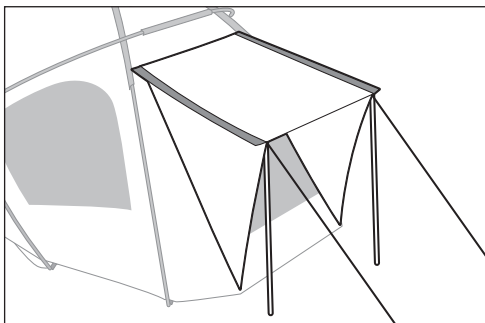


ルーフシート前後に付いているフックを、本体に付いているループに掛けます。このとき、本体のフレームをまたぐように掛けます。



全体の張り具合を確認して完成です。

## その他の使用方法



### 後室パネルのハネ上げ

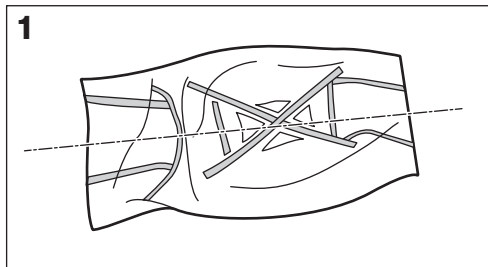
後室パネルは必要に応じてハネあげることが可能です。その際、長さが150cm程度のアップライトポール(別売)が必要です。

## 撤収について

撤収は設営と逆の手順で行いますが、インナーテントを取付けた場合は、必ずインナーテントをフライシートから取り外して収納してください。

## 収納方法

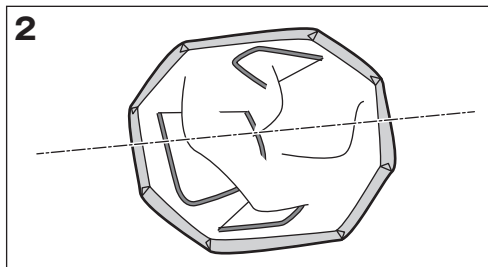
1



**フレームを抜き、フライシートを広げます。**

フライシートの中心線から室内側を内側に2つに折りたたみ、徐々にキャリーバッグに収まる長四角型にたたんでいきます。

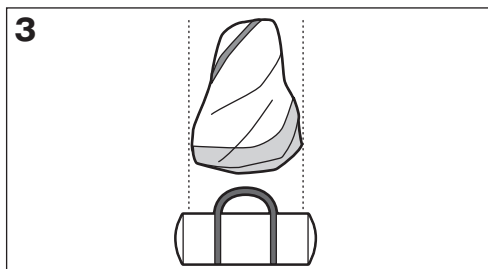
2



**インナーテントも広げます。**

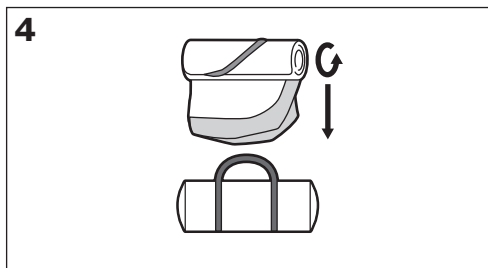
インナーテントの出入口ドアを中心とし、室内側を内側に2つに折りたたみ、徐々にキャリーバッグに収まる長四角型にたたんでいきます。

3



**インナーテントとフライシートをそれぞれキャリーバッグの幅に合うまで折りたたみ、重ねます。**

4



**丸めて収納します。**

空気を抜きながら丸め、キャリーバッグへ収納します。

## 結露について

空気中に含まれている水分が急激に冷やされて霧状になったものが結露として現れます。特に狭いテント等の空間では、通常の室内よりも水蒸気の濃度が高くなり、結露の発生する確率が高くなります。原因としては、人体構成要素の約60%を占める水分が、呼吸や汗などにより放出され、水蒸気となりテント内に結露が発生します。テント内では、特にフライシート・ポトム部分などの防水性能が高い部分に結露が発生しやすくなります。結露は優れた透湿防水素材でも使用状況により完全に防ぐことは不可能です。ご使用中は結露軽減のために適時換気を行ってください。

## 撥水・防水性能について

- 本製品はいずれの生地にも高性能の撥水加工を施していますが、生地の特性上、撥水性能(撥水の仕方や耐久性)に若干の差が見られる場合があります。また、ご使用を重ねますと撥水性能が低下する場合があります。性能が低下した場合は市販の撥水スプレー等を、それらの説明書をよくお読みの上ご使用ください。
- 防水性の高い生地を使用しておりますが、地面の水溜りなどへ長時間接触していると雨水が浸み込む場合があります。
- 農薬などでPUコーティングが破壊され耐水圧が異常低下してしまう場合があります。この症状と判断された場合、製品の保証が出来なくなりますのでご注意ください。
- 撥水剤の影響によりロゴマークが剥離する場合があります。

## 紫外線の影響について

- 本製品にはルーフの生地にもUVカット加工を施しています。UVカット加工は、人体にとって有害な紫外線の透過を抑えると共に、生地の強度劣化を緩和します。

※UVカット加工は、紫外線による人体への影響や、素材劣化を防止するものではありません。

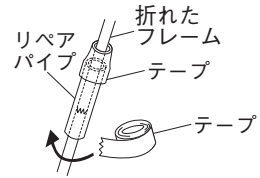
## メンテナンス・保管

- 長期間ご使用しなかった製品を再度お使いになる際は、本製品を点検し各部に異常がないことを確認してください。異常が発見された場合は、直ちに使用を中止しお買い求めいただいた販売店様、または弊社ユーザーサービス係に点検または修理を依頼してください。
- 本製品はポリエステル生地を組み合わせて使用しています。生地の特性を考慮し、できる限り色移りし難い加工と配色パターンを採用していますが、保管状態などにより、色移りが発生する場合があります。ご了承ください。また、濡れたままの保管は避けてください。
- 濡れたまま保管すると、カビや悪臭、生地の色移り、生地の劣化などのトラブルの原因になりますので、使用後は風通しの良い日陰で十分に乾燥し、柔らかいブラシなどで泥汚れを落としてから保管してください。
- フレームを通した状態のまま逆さまにしないでください。フレーム折損や生地損傷の原因になります。
- フレームは表面の汚れを落とし、十分に乾燥させてから保管してください。濡れたまま保管すると腐食、強度が低下します。ジョイント部分は常に清潔にし、少量のシリコン系潤滑剤を薄く塗布してください。塗布し過ぎると生地に油シミができますのでご注意ください。また、フレーム内部のショックコードは不必要に引っ張らないでください。
- フレームを折り畳むときは、両手で1本ずつ持ち、真ん中のつなぎ目で折り畳みます。フレームが最小のサイズに折り畳まれるまで、これを繰り返します。



- 高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
- ファスナーに泥や砂、ホコリなどが付着したまま使用すると摩耗し破損の原因になりますので、ブラシなどを常に清潔にしてください。また、スライダの動きを滑らかにするために、少量のシリコン系樹脂剤を定期的に塗布してください。塗布し過ぎると生地に油シミができますのでご注意ください。
- 小さな生地の破損は市販のリペアテープで補修できます。補修の際はリペアテープの説明書をよくお読みください。
- ご使用により広範囲にわたり素材が劣化し、耐久度合を超えたものは修理できない場合があります。
- 次の使用に備え、張り綱などの付属品も含め、十分に保守、点検をしてください。
- シームテープはPUコーティングが痛まない程度の温度設定で圧着されていますが、使用を重ねるにしたがい剥離してしまう場合があります。剥離が確認された場合は、アイロンを低温に設定し、剥離箇所のみを再度圧着してください。熱を掛け過ぎた場合生地が変色したり劣化が促進されますのでご注意ください。シームテープは無理やり剥離させないでください。PUコーティングと一緒に剥離された場合、修理できなくなる可能性があります。
- 樹液が付着してしまうときれいに除去することはできません。樹液が垂れそうな木の下を避けて設営してください。溶剤などにより無理に除去すると生地やコーティングを傷めます。

- 使用する際にフレームが折れてしまった場合は、応急処置として速やかに付属のリペアパイプや添え木をあて、ビニールテープなどで固定するか、撤収をしてください。



## 品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期していますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店様もしくは弊社または各製品に記載された連絡先にご相談ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適切な価格で修理させていただきます。修理、交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合は修理できない場合もありますので予めご了承ください。

1. 素材の経年劣化による損害など商品の寿命
2. 改造および粗雑な取扱いによる故障
3. 取扱説明書で禁止されている取扱いによる故障
4. 不測の事故による商品の故障
5. その他製造上の欠陥以外による製品の故障
6. ゴミやさびによる故障
7. 分解したことによる不具合の発生または破損
8. 落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合
9. 摩擦によるパーツの変化及びそれによる故障
10. 他社製品との組み合わせによる故障

## 修理について

- 本格的な修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。
- 修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚れをきれいに落としてください。
- 修理品には修理箇所がはっきりと解るように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また破損時の状況をできるだけ詳しく書いたメモを添えてください。
- 修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させていただきます。
  - 1.保証対象の場合:往復運賃並びに修理費は弊社にて負担いたします。
  - 2.保証対象以外の場合:往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

## スペック

●セット内容: テント本体、ルーフシート、本体フレーム(×4)、前室フレーム(×1)、ジュラピンペグ(17cm×20)、自在付ロープ(2.5m×6、2.0m×2)、シームグリップ剤、リペアパイプ、キャリーバッグ、フレームケース、ペグケース、取扱説明書

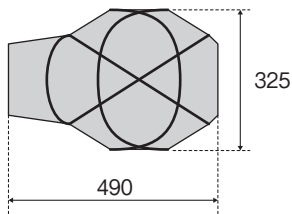
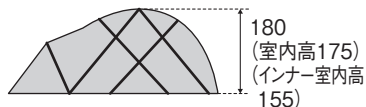
●材質: フライシート・ルーフシート/75Dポリエステルタフタ・PUコーティング耐水圧1,800mmミニマム・テフロン撥水加工・UVカット加工、インナーウォール/75Dポリエステルリップストップ、ボトム/300Dポリエステルオックス・PUコーティング耐水圧10,000mmミニマム、フレーム/ジュラルミンA7001(φ11mm)

●キャリーバッグサイズ: W70×D32×H28cm

●重量: 13.5kg

●カラー: アイボリー

単位はcm



不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

**スノーピークユーザーサービス**

 **0120-010-660** (9:00~17:00)

Email: [userservice@snowpeak.co.jp](mailto:userservice@snowpeak.co.jp)

株式会社スノーピーク

〒955-0147 新潟県三条市中野原456

Tel.0256-46-5858 / Fax.0256-46-5860

[www.snowpeak.co.jp](http://www.snowpeak.co.jp)

MADE IN CHINA

Instruction Manual : Ver 1.01

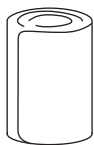
SD-507 IV

# Dock Dome Pro. 6 in Ivory



Thank you for purchasing a Snow Peak product. This product is a tent for camping. For safety, read the following instruction manual before use. Please keep it safe for future reference. Finally, if you find anything that you do not understand in the description or any problems with the product, please stop use immediately and contact the retailer or Snow Peak Customer Service.

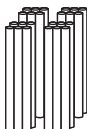
## ■ Contents



Fly x1  
Inner Tent x1



Roof Sheet x1



Tent Pole x4



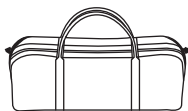
Vestibule Pole x1



Duralumin Peg x20



Rope with Rope Tensioner  
2.5m/8.2' x6, 2.0m/6.6' x2



Carry Bag x1



Pole Case x1



Peg Case x1



Repair Pipe x1



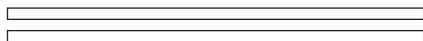
Seam Sealer x1



Instruction Manual x1

The contents of the set are based on setting up the tent in standard conditions. You should prepare some durable long pegs, ropes, and other accessories in order to make setup easier. Pegs, ropes, tensioners and similar accessories wear with use, so it is recommended to always carry spares.

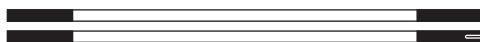
## ● Poles



Tent A Pole (Short) x2



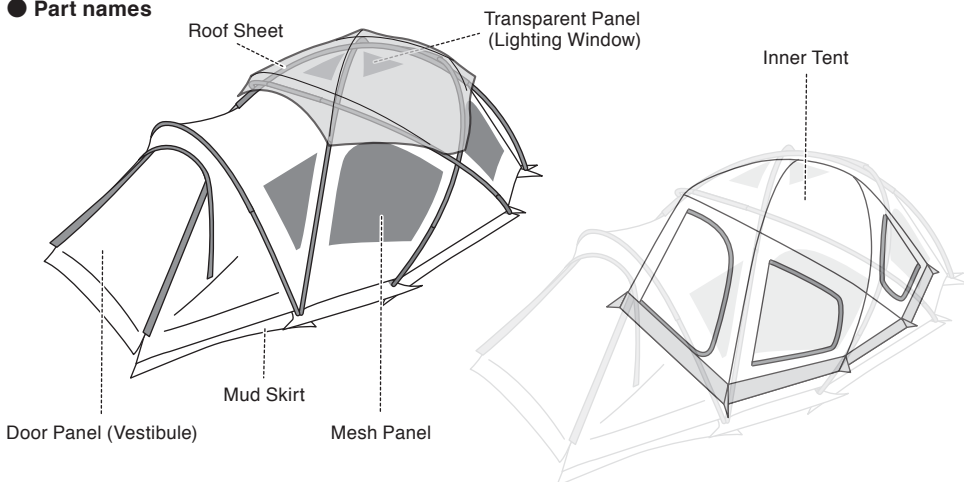
Vestibule Pole x1



Tent B Pole (Long) x2

Ends are blue



## ● Part names




\*Not shielded.

## Safety Precautions

 **DANGER** Misuse could easily result in a serious accident or death.

- The tent material is not flame-proof. Do not use combustion-based heat sources (such as lanterns, stoves, or heaters) or open flames (such as matches, candles, lighters or cigarettes) inside the tent. The use of such heat or light sources inside a small enclosed space is very dangerous and may result in fire. 
- Do not keep fuel in the tent, or bring or flammable items for replenishing fuel, etc. inside the tent. 

 **WARNING** Misuse could result in serious injury to the user.

- Before using the product, check each part for abnormalities. If there are abnormalities, take the product to the dealer or Snow Peak Customer Service for inspection or repair.
- Pay close attention to the weather. If there are strong winds or extreme weather is in the forecast, pack up camp immediately and evacuate to a safe place. 
- Do not bring heated items or heat sources into the tent. Very high temperatures inside the tent may cause heatstroke. Pay close attention to the temperature, particularly when children are napping inside the tent.
- Choose a flat, well-drained area with firm ground to setup the tent. Choose an area where there is no chance of avalanches, landslides, wind gusts, or sudden flooding.

 **CAUTION** Misuse could result in injury to the user and/or damage to property.

- This product is not for permanent setup.
- Sunlight can cause the surface of the Fly to heat up, potentially causing low-temperature burns. Be especially cautious when handling.
- Do not assemble or use the tent close to a bonfire, fireworks, etc. Flying sparks can create holes in the material.
- Firmly hold Tent Poles so that it won't be blown away by the wind when assembling and disassembling the tent. Unexpected accidents may occur due to the pole ends recoiling. Ensure that the surrounding area is safe.
- Use the pegs and guy lines to ensure that the product is secured in place.
- If the tent is left in the sun for long periods, materials may fade in color or deteriorate and lose strength. Do not leave the tent set up permanently.

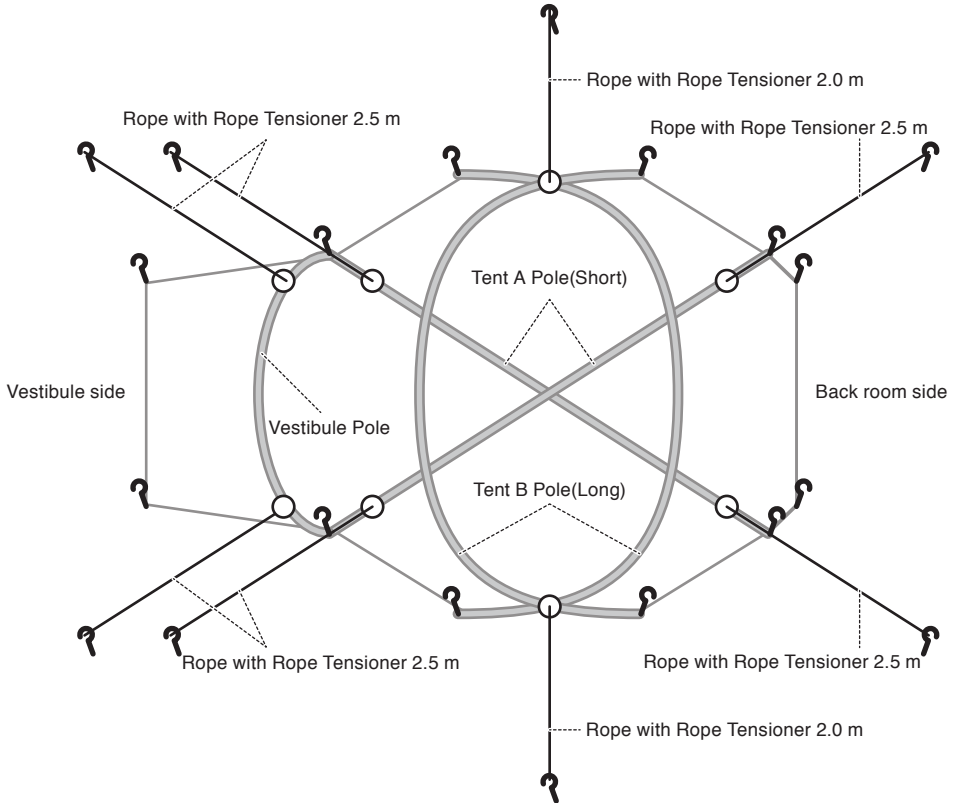
## Preparations Before Use

### ● Sealing with seam sealer

A waterproofing treatment using seam tape has been applied to the stitching of the tent. However, seam tape cannot be applied to stitching sewed together with loops and toggles or stitch lines sewed together with zipper flaps, due to their inherent design. Though capable during periods of normal rain, long spells of heavy or driving rain, or prolonged contact with water pools on the ground, may result in water soaking through the stitching. Applying seam sealer is recommended in such situations. Seam sealer will cure with time. Reapply when it comes off. If water soaks through other areas, seal those areas as necessary.

### ● Guy line (Rope with Rope Tensioner) and pegging locations

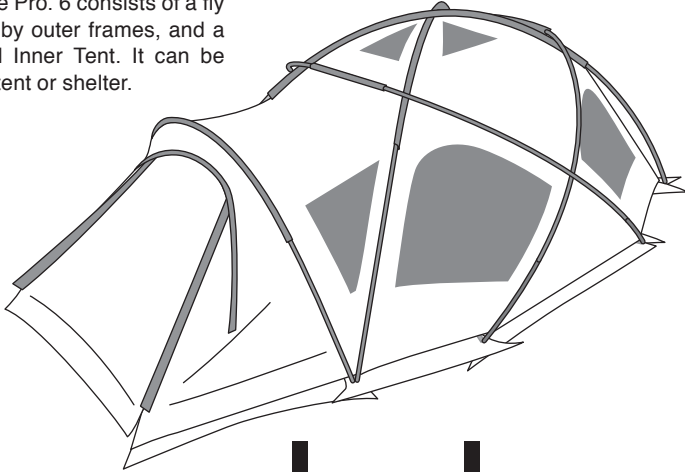
Refer to the following diagram when securing guy lines and pegging the product down.



## Setup Overview

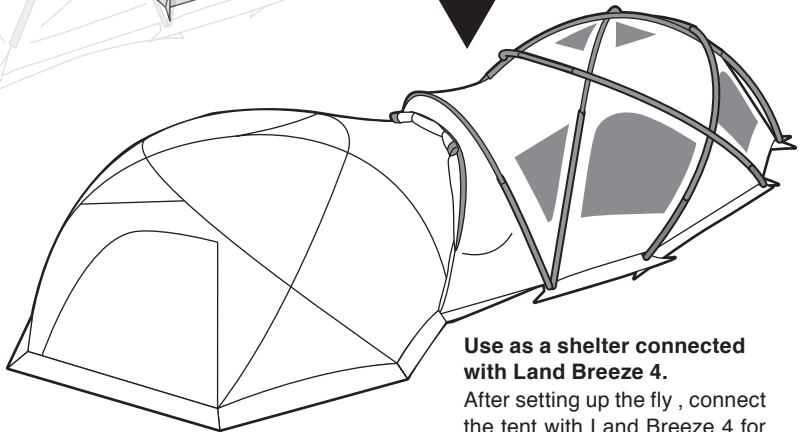
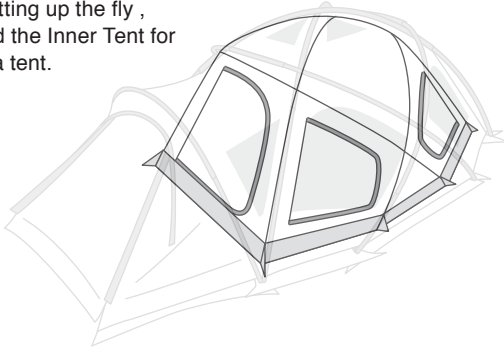
### Setup the Fly

Dock Dome Pro. 6 consists of a fly supported by outer frames, and a suspended Inner Tent. It can be used as a tent or shelter.



### Setup the Inner Tent for use as a tent.

After setting up the fly, suspend the Inner Tent for use as a tent.

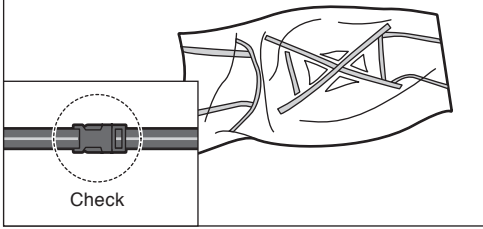


### Use as a shelter connected with Land Breeze 4.

After setting up the fly, connect the tent with Land Breeze 4 for use as a shelter.

## Setup the Fly

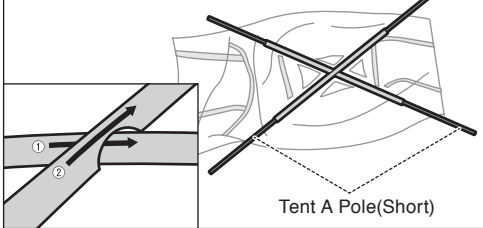
1



### Spread the fly.

Spread the fly. Ensure that the building tape buckles (× 4) are securely connected.

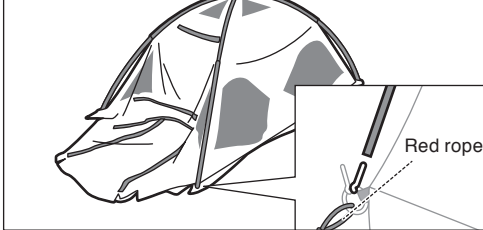
2



### Insert the two Tent A Pole (Short) into the sleeves, so that they cross.

Ensure that all pole joints are properly connected. When inserting the poles into the sleeves, push the poles through the sleeves. Do not pull the poles, as doing so will cause the joints to become disconnected. Setup will be easier if the pole is inserted into the lower sleeve of the crossover point first.

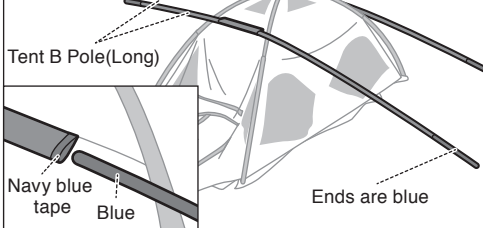
3



### Connect the Tent A Pole (Short) to the pins, and then lift the fly.

Connect the ends of the Tent A Pole (Short) to the pins. Be careful not to pinch your fingers between the poles and pins.

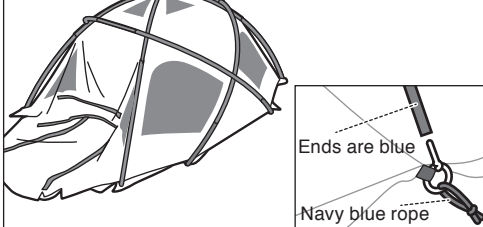
4



### Insert the two Tent B Pole (Long) into the sleeves.

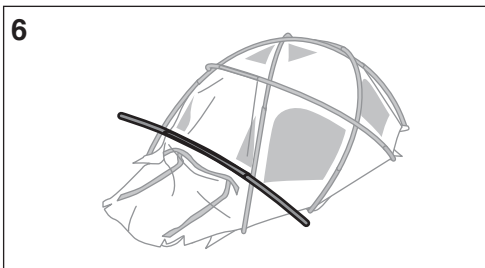
Insert the Tent B Pole (Long) into the sleeves located on the front and rear of the tent. When inserting the poles into the sleeves, push the poles through the sleeves. Do not pull the poles, as doing so will cause the joints to become disconnected.

5



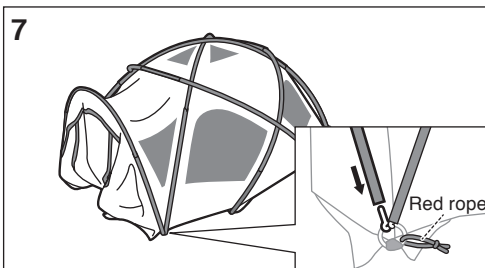
### Connect the Tent B Pole (Long) to the pins.

Connect the Tent B Pole (Long) to the pins so that the poles cross each other. Be careful not to pinch your fingers between the poles and pins.



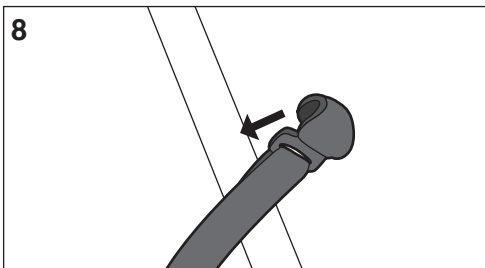
### 6 Insert the Vestibule Pole into the sleeve.

Insert the Vestibule Pole into the sleeve located on the front of the tent. When inserting the poles into the sleeves, push the poles through the sleeves. Do not pull the poles, as doing so will cause the joints to become disconnected.



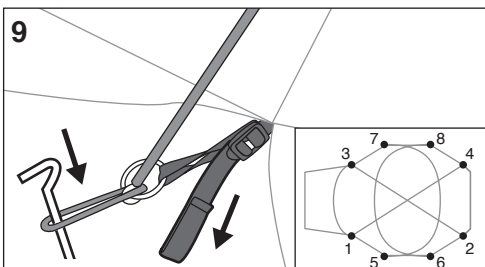
### 7 Connect the Vestibule Pole to the pins.

Connect the Vestibule Pole to the pins. Be careful not to pinch your fingers between the poles and pins.



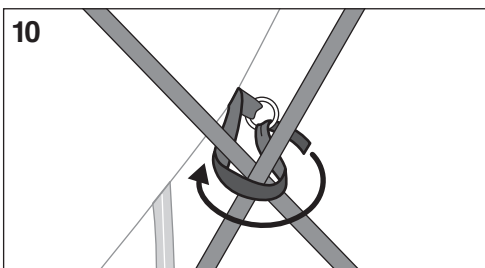
### 8 Attach the hooks on the Fly to the poles.

Attach the hooks on the Fly to the Tent Poles. Attaching the hooks in order from top to bottom will make setup easier.



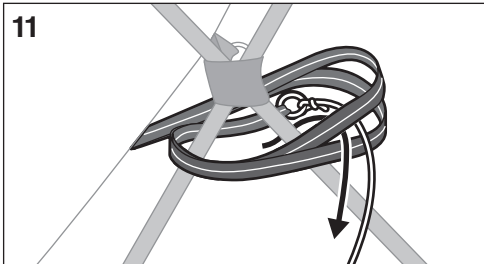
### 9 Peg the pole end corners down.

Peg the ropes on the eight pole end corners down. Peg the ropes down in the order indicated in the diagram. After pegging the ropes down, pull the adjustment belts to tighten them. Refer to "Guy line (Rope with Rope Tensioner) and pegging locations" on page 19 for the locations of the pegs.



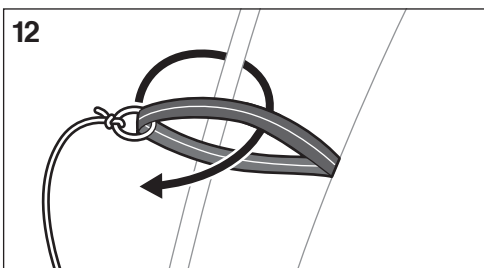
### 10 Use the Velcro tape to secure the crossover point of the Tent B Pole(Long).

Use the Velcro tape attached to the Fly to secure the crossover point of the Tent B Pole(Long). Make sure to pass the Velcro tape around both poles, so that they are bundled together.



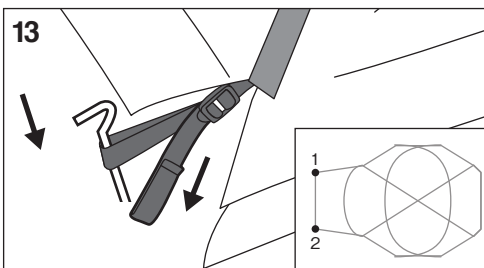
**11** **Wrap the guy line loops around the crossover points of the Tent B Pole(Long), and then peg them down.**

Wrap the guy line loops attached to the Fly around the crossover points of the Tent B Pole(Long), and then peg them down. Refer to "Guy line (Rope with Rope Tensioner) and pegging locations" on page 19 for the locations of the pegs.



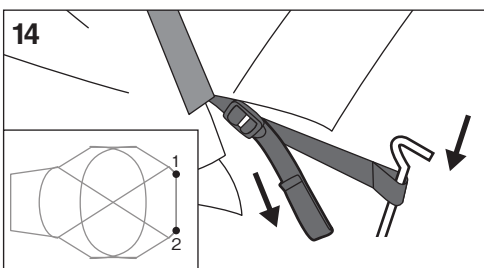
**12** **Wrap the guy line loops around the Tent A Pole(Short), and then peg them down.**

Wrap the guy line loops attached to the Fly around the Tent A Pole(Short), and then peg them down. Refer to "Guy line (Rope with Rope Tensioner) and pegging locations" on page 19 for the locations of the pegs.



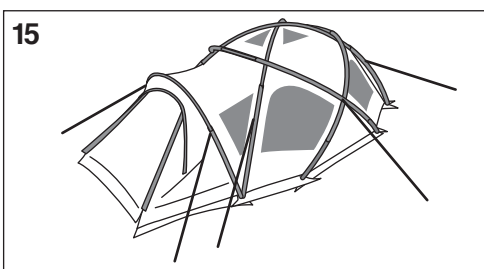
**13** **Peg the bottom part of the vestibule down.**

Peg the loops on the bottom part of the vestibule down, and then tighten the adjustment belts. Refer to "Guy line (Rope with Rope Tensioner) and pegging locations" on page 19 for the locations of the pegs.



**14** **Peg the bottom part of the back room down.**

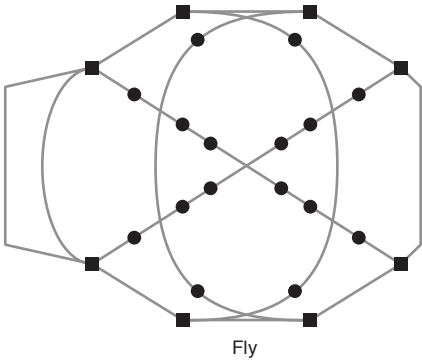
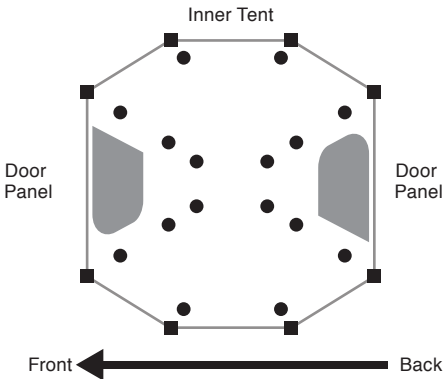
Peg the loops on the bottom part of the back room down, and then tighten the adjustment belts. Refer to "Guy line (Rope with Rope Tensioner) and pegging locations" on page 19 for the locations of the pegs.



**15** **Adjust the entire setup to finish setting up the Fly.**

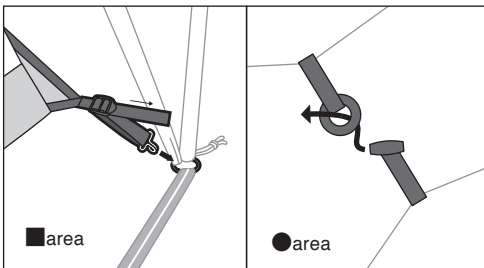
Inspect the entire setup, and adjust the tightness of the adjustment belts and ropes to finish setting up the Fly.

## Setup the Inner Tent



### Spread the Inner Tent, and then confirm where it should be connected with the Fly.

Spread the Inner Tent, and then confirm where it should be connected with the Fly (indicated with ■ and ● in the diagram). Connect in sequence from the back room (the back) to the front. Connecting from the area around the ceiling first will make it more difficult to connect the back.



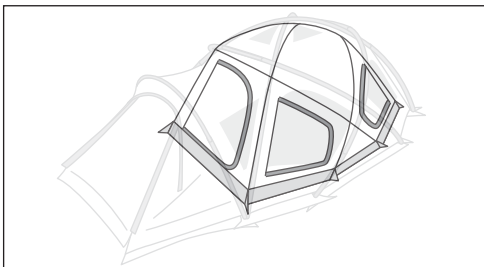
### Fasten each connection point.

Connect points indicated with ■ by attaching the hooks to the rings. Once finished, tighten and adjust the belts.

Connect points indicated with ● using the toggles.

Connect in order from the back to the front.

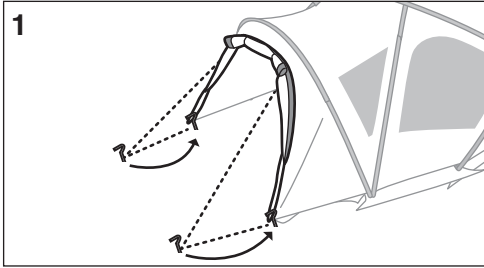
Connecting from the ceiling area first will make it more difficult to connect the back.



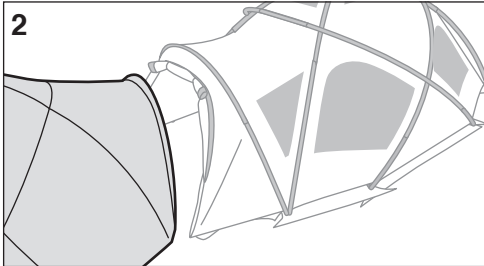
### Adjust the entire setup to finish setting up the Inner Tent.

Inspect the entire setup, and adjust the tightness of the adjustment belts to finish setting up the Inner Tent.

## Connecting to Land Breeze 4

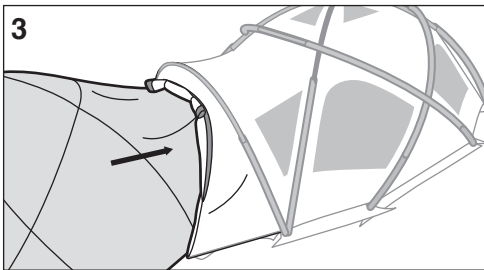


**1** Relocate the pegs for the Dock Dome vestibule, and roll the entrance flap up.



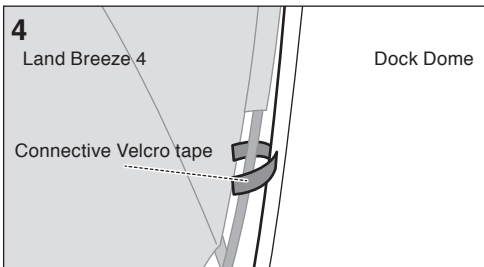
**2** Prepare to connect, with Land Breeze 4 already setup.

Roll the vestibule entrance up and prepare to connect, with Land Breeze 4 already setup (but not pegged down).



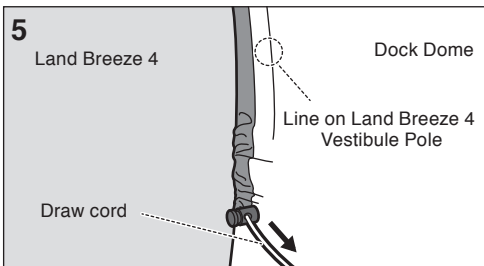
**3** Insert the Vestibule Pole on Land Breeze 4 into the vestibule on Dock Dome.

If inserting the vestibule on Land Breeze 4 is difficult, move the peg in location "1" more to the outside.



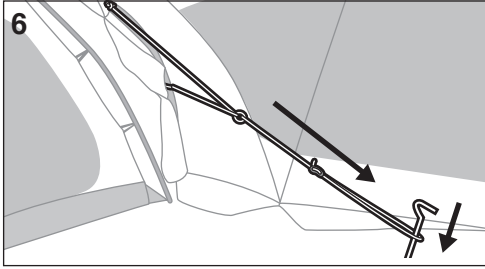
**4** Fasten the connective Velcro tape on Dock Dome.

Fasten the connective Velcro tape attached to Dock Dome to the Vestibule Pole on Land Breeze 4.



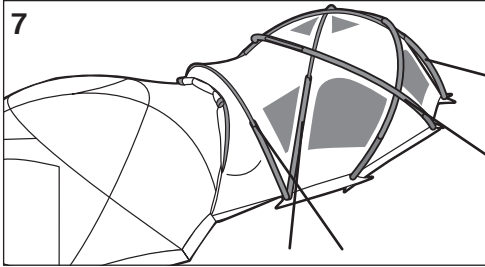
**5** Pull the draw cord on Dock Dome.

Adjust by pulling the draw cord attached to Dock Dome. The line on the Vestibule Pole on Land Breeze 4 should stand out slightly.



**Enter in to the Dock Dome, and use the guy lines to secure the Vestibule Pole on Land Breeze 4 in place.**

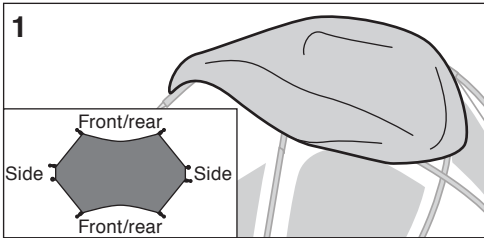
Enter in to the Dock Dome, and peg the guy lines attached to the vestibule on Land Breeze 4 down. Peg down is inside the Dock Dome.



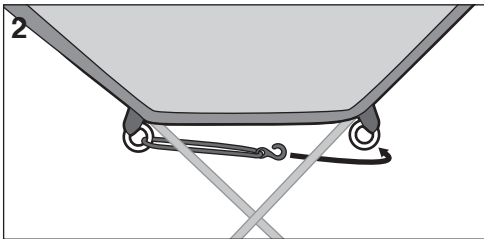
**Peg Land Breeze 4 down, and then adjust the entire setup to finish.**

Peg Land Breeze 4 down. Inspect the entire setup, and adjust the tightness of the adjustment belts and ropes to finish the connection.

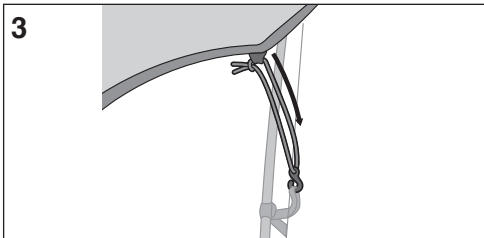
## Attach the Roof Sheet \*Not shielded.



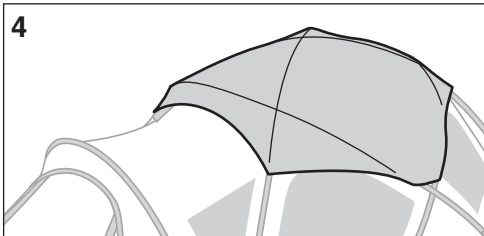
Lay the Roof Sheet over the tent, ensuring that the Roof Sheet is orientated properly.



Attach the hooks on the side of the Roof Sheet to the rings. Fasten them securely by passing the rubber under the Tent Pole, so that it is enfolded.

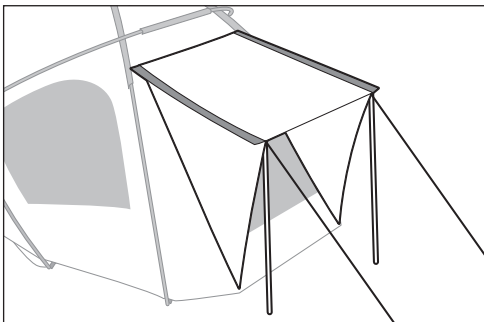


Attach the hooks on the front/rear of the Roof Sheet to the loops attached to the tent. Make sure to attach these over the Tent Poles.



Check the overall tension to finish the setup.

## Other Uses



### Raise the back room panel.

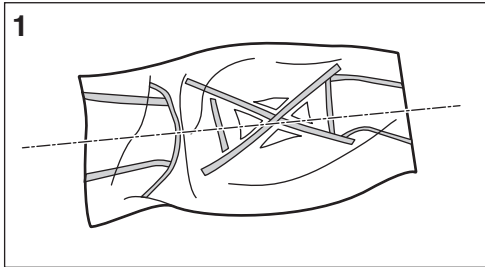
The back room panel can be raised if required. This requires using an upright pole (sold separately) with a length of around 150cm/4.9'.

## Precautions for Storage

Follow the setup procedure in reverse to disassemble the tent. If using the Inner Tent, make sure to store the product with the Inner Tent detached from the Fly.

## Storage

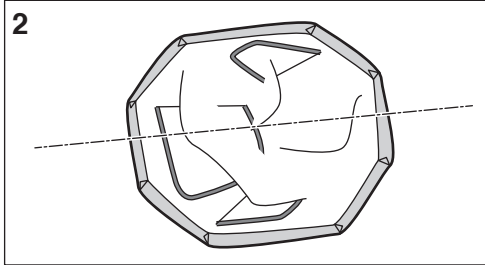
1



### Remove the poles and spread the Fly.

Fold the Fly in half along its center line, with the inside of the Fly on the inside. Continue to fold until the Fly is a small enough rectangle to fit in the Carry Bag.

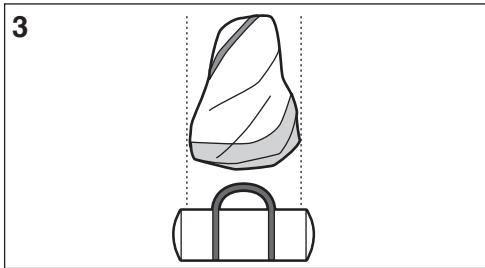
2



### Spread the Inner Tent.

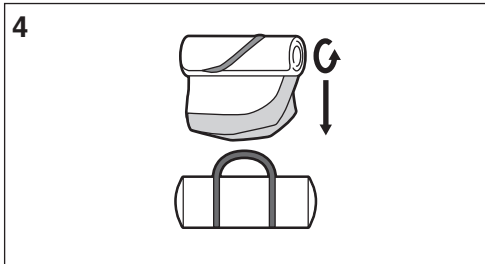
With the entrance and exit door of the Inner Tent as the center, fold the inside side in two, and gradually fold it into a long rectangular shape that fits into a Carry Bag.

3



Continue to fold the Inner Tent and Fly until they match the width of the Carrying Bag, and then place one on top of the other.

4



### Roll up and store.

Roll the folded Inner Tent and Fly together while releasing any trapped air, and then store them together in the Carry Bag.

## Condensation

Mist is a collection of water droplets suspended in the air that turns into condensation in rapidly falling temperatures. The concentration of water vapor is higher in smaller spaces (such as the inside of a tent) than in an ordinary room and frequently results in more condensation. Water accounts for 60 percent of the human body and is released through breathing and perspiration. This also causes the amount of water vapor in the tent to increase, resulting in more condensation. Inside a tent, condensation can commonly be found on materials that are highly waterproof, such as the fly or the bottom. It is impossible to avoid condensation completely, even with the use of high-quality permeable waterproof materials. To reduce condensation, it is recommended to constantly ventilate the tent.

## Water-Repelling and Waterproofing

- The materials used in this product are treated with a high-performance water-repellent finish. However, water-repelling performance (water-repelling method and durability) may vary slightly due to the characteristics of each material. Water-repelling performance will decrease after repeated use. If performance decreases, use a water-repellent spray, which is available at most retailers. When using the spray, be sure to follow the product instructions.
- This product makes use of materials with high waterproof performance. However, if the materials make contact with pools of water on the ground for long periods, water may soak into the material.
- Agricultural chemicals and other substances may cause the PU coating to break down, which can significantly reduce the product's ability to withstand water pressure. If this occurs, there is no guarantee that the product will function as intended.
- The logo mark may peel due to the effects of the water repellent.

## Effect of Ultraviolet Rays

- A UV protection treatment has been applied to the roof material of this product. Ultraviolet rays are harmful to humans. The UV protection treatment will reduce the amount of ultraviolet rays entering the tent, and will also slow the deterioration of material.
- \* The UV protection treatment will not completely shield occupants from ultraviolet rays or completely stop the deterioration of the material.

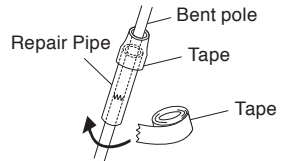
## Maintenance & Storage

- Before using a product that has been in storage for a long time, check each part for abnormalities. If there are abnormalities, take the product to the retailer or contact Snow Peak Customer Service for inspection or repair.
- A combination of polyester materials is used in this product. In designing this product, we took the material characteristics into consideration and adopted processing and color patterns that will result in less color migration. However, slight color migration may occur depending on storage conditions. Do not store the product while it is wet.
- Storing the product while it is still wet can result in issues such as mold buildup, bad odors, color migration, and material deterioration. After using the product, dry it sufficiently in a well-ventilated and shaded area and clean the surface with a soft brush before storing.
- Do not flip the product over with the poles still inside the sleeves. Doing so could break the poles or damage the material.
- Clean and dry the surfaces of the poles sufficiently before storing. Storing them while they are still wet can result in corrosion, which will weaken them. Keep the joints clean and apply a small layer of silicone lubricant. Applying too much lubricant can stain the material. Do not pull the shock cords inside the poles unnecessarily.

- In order to store the poles, they must be folded down. When folding each pole down, hold one section in each hand and fold at the joint in the middle. Repeat until the pole has been folded down to its smallest size.



- Store the product in a well-ventilated area outside of direct sunlight, and away from heat and moisture.
- Using the zipper when it is covered with substances such as mud, sand, or dust may cause wear or damage. Clean the zipper with a brush before storage. Apply a small amount of silicone lubricant to the zipper regularly to allow for smooth movement. Applying too much lubricant can stain the material.
- Slight damage to material can be mended with repair tape, which is available at most retailers. When mending material, be sure to read the repair tape instructions carefully.
- Depending on the conditions during use, the tent material may deteriorate over a wide area, losing its durability and becoming irreparable.
- Carefully maintain and inspect the product (including guy lines and other accessories) in preparation for the next time the product will be used.
- Seam tape has been pressure bonded at a temperature set to not damage the PU coating. However, it may begin to peel with continued use. If peeling occurs, use an iron set to low temperature to pressure bond the peeling section. Ensure that only the peeling section is ironed, when doing so. Applying too much heat could cause discoloration or accelerate deterioration of the material. Do not peel the seam tape off. If the PU coating is also pulled off, it may become irreparable.
- Do not allow sap to stick to the product, as sap cannot be completely cleaned off. Avoid placing the product under trees that drip sap. Using solvent or other substances in an attempt to remove sap will damage the material and coating.
- If a pole is bent during use, attach a Repair Pipe (included) or splint to the pole and secure it with plastic tape, or pack up camp.



## Warranty

Snow Peak has taken all possible measures to ensure every product is durable and functions correctly. If you find any product defects, please contact the retailer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service. If there are apparent defects in the product's manufacturing, the defective product will be repaired or exchanged free of charge. In other cases, Snow Peak will repair the product for an appropriate fee. The decision to repair or replace the product will be at our discretion. Snow Peak will not repair the product for any damage that occurred due to the following:

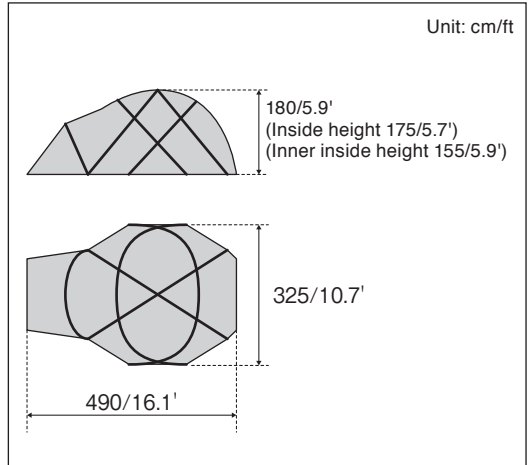
1. Material deterioration caused by age.
2. Damage caused by modifications or rough handling.
3. Damage caused by inappropriate use not mentioned in the instruction manual.
4. Damage caused by unexpected accidents.
5. Any damage other than defects in the manufacturing process.
6. Damage caused by dust or rust.
7. Damage and defects caused by dismantling the product.
8. Damage and defects caused by dropping, jolting or other shocks.
9. Deterioration or failure of parts due to friction.
10. Damage caused by the use of the product in combination with another manufacturer's products.

## Repair

- If professional repairs are required, please contact the retailer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service.
- When you request repairs, please make sure that the product is dry and clean.
- Please attach a memo or a tag indicating the necessary repair and please write details of how and when the damage occurred.
- Transportation and repair costs are determined as follows
  1. Within warranty: The transportation cost (both ways) and repair cost will be covered by Snow Peak.
  2. Outside warranty: The transportation cost (both ways) and repair cost will be covered by the customer.

### Specifications

- Contents: Tent, Roof Sheet, Tent Poles (× 4), Vestibule Pole (× 1), Duralumin Peg (17cm/6.7" × 20), Rope with Rope Tensioner (2.5m/8.2' × 6, 2.0m/6.6' × 2), Seam Sealer, Repair Pipe, Carry Bag, Pole Case, Peg Case, Instruction Manual
- Materials: Fly & Roof Sheet / 75D Polyester Taffeta, PU Coating  
Waterproof Rating: 1,800mm minimum, Teflon Water-repellent Finish, UV Protection Treatment; Inner wall / 75D Polyester Rip Stop; Bottom / 300D Polyester Oxford, PU Coating  
Waterproof Rating: 10,000mm minimum; Pole / Duralumin A7001 (φ11 mm)
- Carry Bag size: W70 × D32 × H28 cm / W27.6" × D12.6" × H11"
- Weight: 13.5 kg/29.8 lbs
- Color: Ivory



### Snow Peak USA, Inc.

404 NW 23rd Avenue, Portland, Oregon 97210, USA  
Tel. +1 (503) 461-0781 / Instagram. @snowpeakusa  
Email. info@snowpeak.com / www.snowpeak.com

### Snow Peak, Inc.

456, Nakanohara, Sanjo-Shi, Niigata 955-0147 Japan  
Tel. +81 256-46-5858 / Fax. +81 256-46-5860  
www.snowpeak.co.jp

MADE IN CHINA